

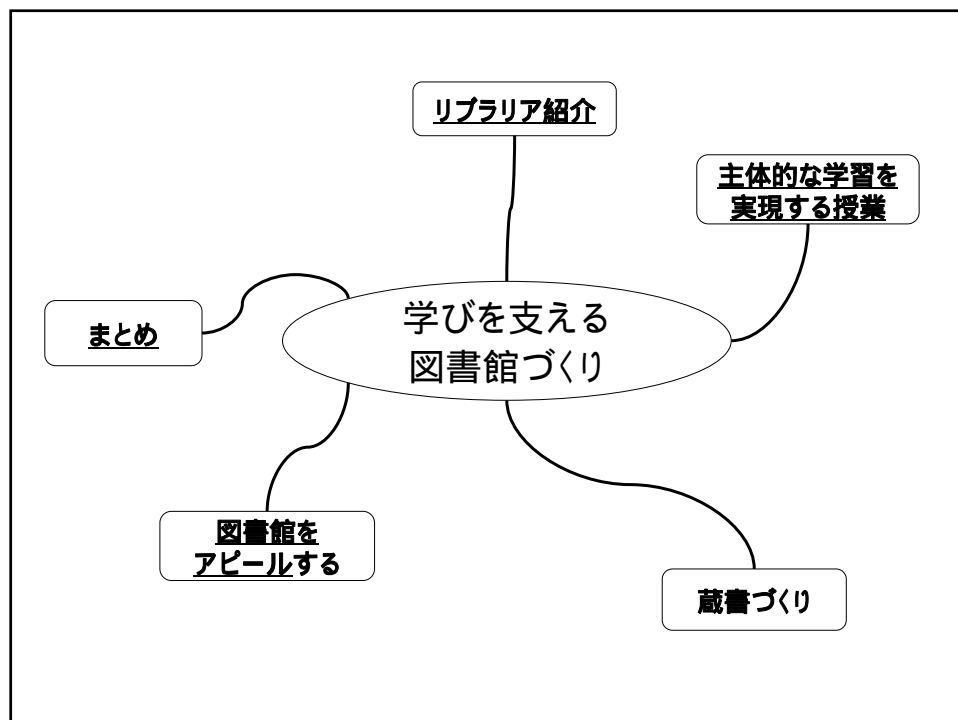
学びを支える

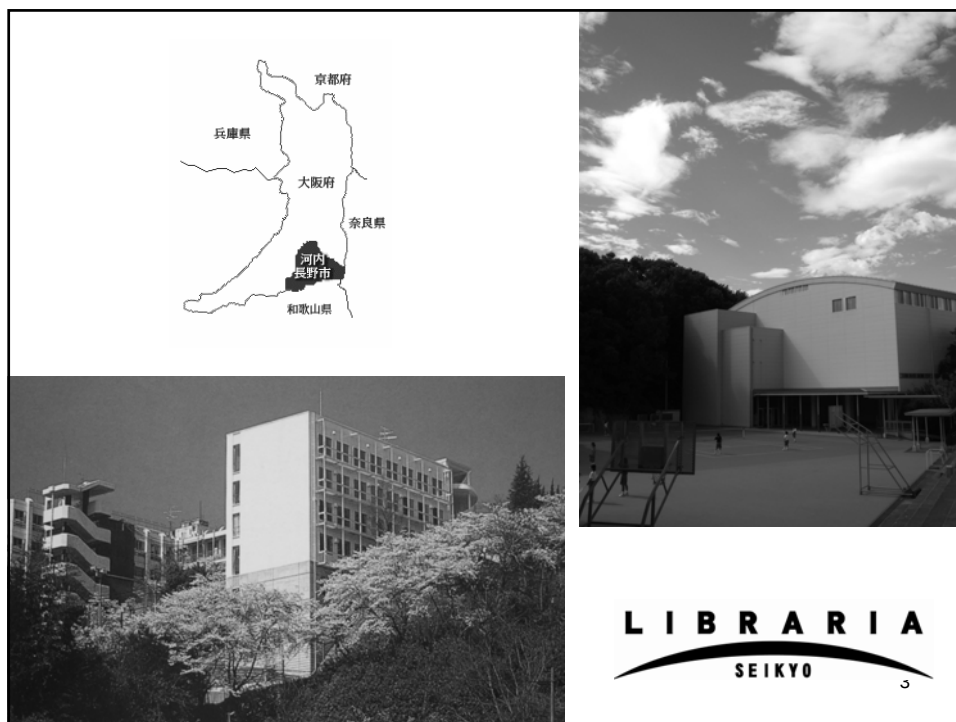
—清教学園リブラリアの図書館づくり—

清教学園中・高等学校探究科 片岡則夫

大阪府・大阪市合同学校図書館研究集会

2010年1月20日







規模: 中学16 高校30クラス 生徒数 総計1920名

職員: 専任司書教諭 専任司書 非常勤司書 各1名

座席: 20席 総合学習室(48席)を併設

授業利用: 中学1～3年 総合学習 週1時間

高校2～3年 探究科 週2時間

美術, 情報, 高校総合学習ゼミ等

年間約500時間

図書館システム「ライブマックス」

書誌データ「TOOLi-S」



7

主体的な学習を実現する授業

中学総合学習

中1「人物調べ」「ポップづくり」

中2「ブックガイドづくり」「ブックレットづくり」

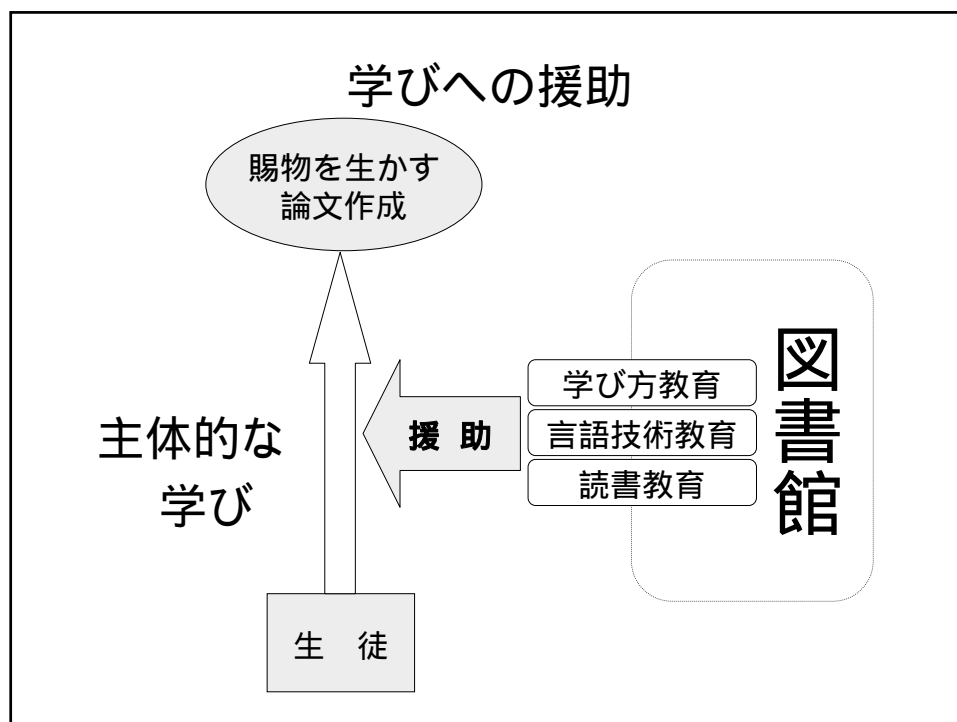
中3「卒業研究」

高校探究科

高2「言語技術...小論文づくり」

高3「タラントソ...卒業論文」

8



蔵書づくりの目標

「ワン・キーワード, 3冊」

蔵書づくりの基本

- ・要求を知り, 良書で答える。
- ・「生徒が役に立つ」と評価した本が役に立つ。

11

捨てる・別置する

ブック(オフ)ハンティング

公共図書館を頼りにする



12

図書館をアピールする





先生のコレクションを展示

2009年4月27日高校教職員会議
4月30日中学教職員会議
図書館教育
総合図書館 清教リブラリア
——活動報告 2008——

I 活動概要

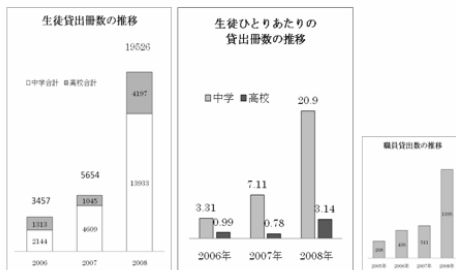
清教リブラリアの年間開館日数は257日、自由な読書とともに、年間約400時間の授業で利用されました。年度末の蔵書数は約5万冊、貸出冊数の総計は19526冊です。

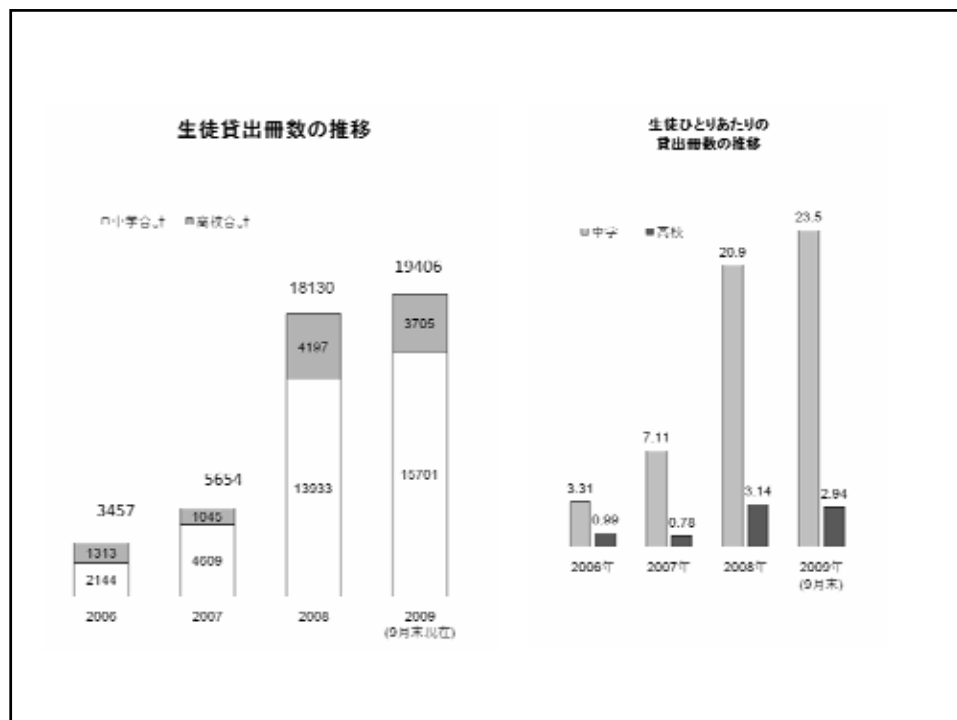
管理面では、蔵書管理の新しいシステムとして、「ライブラマックス」を、書籍情報ツールとして「[Soo]」を導入し、バーコードによる貸出、蔵書受入作業の効率化が4月に実現しました。また、校内LANからのリブラリアの蔵書検索、新聞記事検索「朝日けんさくくん」[蔵書Ⅱ]の利用が可能となりました。設備面では、百科事典などのレファレンス資料用の蔵書架を増設し、文庫庫・ビデオ庫を新装しました。また、すべての書架の奥下段に傾斜棚を入れ、図書館内に生徒用端末端末2台を設置しました。

利用面では、高校生への図書館ガイダンスを朝の読書の時間を利用して行い、生徒の貸出冊数を2冊から5冊に増やしました(09年度からは10冊)。また、「図書館を校とした総合学習」の実現のため、学年ごとのきめのこまかい利用指導法の開発・試行を行いました。

以上の運営の結果、貸出冊数は増加傾向にあります。昨年度と比較して中学生は3倍、高校生は4倍増となりました。

活動報告(年報)





まとめ～学びを支える図書館づくり～

- ・図書館を授業で使う
 - 生徒が主導権(イニシアチブ)を持つ学び
- ・蔵書づくり
 - 生徒の要求を知り, 良書で答える。
- ・アピール
 - 知られてこそその図書館。広報の力。